

今時！



今、同じ九州内の熊本県、ふるさとの大分県で地震による災害でとても厳しい状況下におかれているのは知っての通りです。5年前の東日本大震災を受け、日本は復興、絆、つながり、がんばろうなどを合い言葉にそれぞれの立場で一生懸命にがんばってきました。しかし、未だに不自由な生活を余儀なくされている方々も多くいます。また、家族や友人を失った方たちの悲しみは消えることはないでしょう。そして今、身近なところで、現実と同じ世代の友がきつい、つらい思いをしているのです。このことをけっして忘れてはいけません。

今津中でも「命」や「家族」の大切さや「助け合う」ことや「支え合う」ことの大切さ、「我慢する」ことや「何事もあきらめずにがんばる」ことの大切さなどをともに考えていきたいと思えます。



「まもる」を合い言葉に (命、安全、心、ルール、マナー)

今津中では、学級指導や歓迎遠足等を通して交通安全についてしっかり考えています。そして大型連休を安全に健やかに過ごし、生活をより豊かなものにできればいいですね。

特に、これからは家庭訪問で早く下校、休日を利用しての部活動の大会参加や練習試合などで普段の生活に比べて外出する機会が増えたり、自転車を利用することが多くなる時期です。自転車の正しい乗り方やマナーについて「自分のため」に気をつけていきましょう。

※5月9日(月)より、部活動生自転車通学許可期間に入ります。

中学生によく見られる自転車の危険な行動

- ・安全不確認 (一時不停止、信号無視など)
- ・自分の能力を過信した行動や自分勝手な行動、無謀な行動
- ・ルール違反 (二人乗り、並進、自転車整備不良など)

また、自転車は、歩行者にとって交通強者です。逆に歩行者は、交通弱者です。そのうち、小さい子どもや高齢者は、特に弱い立場にあるといえます。しっかりと守っていかねばなりません。

☆部活に入部予定の1年生は、休日の練習などで自転車を利用することが多いと思いますが、ヘルメットを着用しなければ自転車に乗れません。

危険を予測する能力を身につけよう。

事故が起きてからその原因を明らかにすることは、比較的簡単です。しかし、大切なのは、その前に事故発生の可能性を見抜いて、危険を避けることです。

危険を予測するためには？

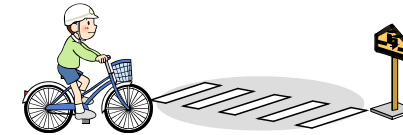
- ・自分の心の状態を知る 【悩みや考え事、あせり、遅れそう。どうしようなどの不安要素 など】
- ・体の状態を知る 【眠い、だるい、頭痛、腹痛、体調不良 など】
- ・道路の状況を知る 【歩道の有無、段差、カーブ、すべりそうな場所、坂、など】
- ・自分以外の人の考えていることや見ているものを知る 【小さい子どもやお年寄りの方の動きや動作、自動車の運転手の気持ち、など】
- ・車の特性なども知る 【車は急に止まれない、運転手からは死角(見えない場所)がある、内輪差^{注1} など】
- ・自然環境を知る 【雨、雪、風、夕暮れ、夜など】

注1 内輪差・・・自動車の後輪は前輪より内側を通る。

過去に事故が発生した場所や危険が予想される場所には、とまれ(一時停止)の標識やカーブミラーが設置されています。標識にしたがうとともにカーブミラーも注意して、見ていく習慣をつけましょう。

見える危険、見えない危険、自分の中にひそんでいる危険などをいつも気にしておかなければなりません。

※法的には自転車は車両であり、自動車などと同様に交通法規を守る必要があります。



☆もしものために自転車保険に加入していることが望ましいと考えます。

☆盗難防止のためにカギをかける習慣を(二重ロックが望ましい)。通常のカギに加えて、チェーンロック！

不審者情報有り イカのおすしの徹底を！

新学期になっても不審者情報が寄せられています。まず、自分の安全を確保することを最優先しましょう。そして、「イカのおすし」です。

- ①イカ・・・いかない
- ②の・・・乗らない
- ③お・・・大声で叫ぶ
- ④す・・・すぐ逃げる
- ⑤し・・・知らせる

※部活等での下校は早めに、明るいうちに、複数で！

